

# JR東海労ニュース

9条堅持!



山岡けんじ

No.1849

2013年7月1日

JR東海労働組合

## 憲法改悪阻止！ シリーズ ①

# 皆さん、候補者を見極め 投票に行きましょう！

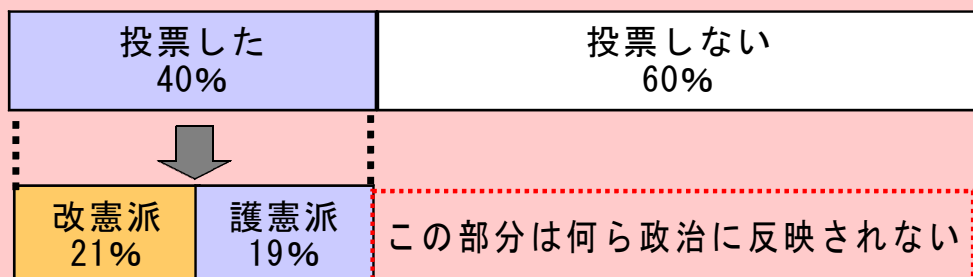
JR東海ユニオン若手組合員の皆さん、今月に参議院議員選挙があるのはご存じでしょうか？最大の争点は憲法改正問題です。

選挙の投票率はどんどん下がる一方です。投票に行かない人たちの多くは若い年代層で、理由は「誰がやっても政治は同じ」という意見です。果たしてそうでしょうか？

現在の投票率は約40%です。100人中40人が投票します。下図のように憲法問題を例に、改憲派と護憲派の候補者2名がいるとします。40人の過半数である21人以上が改憲派の候補者に投票すると、改憲へと政治が流れます。投票に行かない60人の中にも、憲法は守った方が良いという人は多くいるはずですが、改憲賛成の人は、今の憲法が気に入らないため、必ず投票に行きます。そうすると、100人中21人の意見で政治を動かすことになるのです。これで良いのでしょうか？

皆さん、AKBの総選挙以外にも、自分の生活や未来を左右する国政選挙の方にも関心を持ちましょう。

投票率が40%の場合、有権者の21%の意見で政治が変えられる！



有権者のわずか21%の意見で憲法を変えても良いのですか？

「誰がやっても政治は同じ」ではありません！  
今度の選挙は、戦争の岐路に立たされています！